

羽田再拡張D滑走路建設工事山砂安全連絡会（第6回）を開催しました。
～ 護岸築造ピーク時における山砂運搬について ～

トピックス

東京国際空港（羽田空港）の新しい滑走路（D滑走路）の建設工事は、昨年（平成19年）の3月30日に現場着工し、滑走路等の土台となる鋼製のジャケット製作・据え付け（栈橋部、連絡誘導路部）などを鋭意進めています。

今般、平成20年4月25日（金）、羽田再拡張D滑走路建設工事山砂安全連絡会（第6回）を開催し、工事着工後2年目における護岸築造ピーク時の山砂運搬経路・台数等について、その計画の了承が得られました。

なお、D滑走路建設工事には、海底軟弱地盤の地盤改良（平成20年3月27日に全て完了）や埋立にあたって、大量の山砂を必要としますが、その多くは千葉県内から調達することとしています。

このため、千葉県内の山砂採取場から積み出し港（木更津港・袖ヶ浦港等）までのダンプトラック運搬による沿道地域への影響を極力低減する観点から、安全かつ環境に配慮した山砂の運搬を最優先で工事を進めるよう努めています。

運搬計画の策定にあたっては、地元行政機関や交通管理者などを構成員とした「山砂安全連絡会」を平成18年12月20日に発足し、運営しているところであり、これまでに計5回にわたって審議してきたところです。（詳細についてはHP参照）

平成20年 5月14日

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所 D滑走路プロジェクト推進室 竹田・木島
住所 東京都大田区羽田空港3-5-7 メンテナンスセンターアネックス5F
電話 03-5756-6575
HP <http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/haneda/index.html>